

## ZANDEN Model 120 の展開(71) ーベーターヴェンを聴き直す(6)ー

### 1. 始めに

前報(70)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

### 2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの弦楽四重奏の下記を選定しました。

#### ETERNA ET-3053

弦楽四重奏曲 10 番変ホ長調作品 74 ハープ

弦楽四重奏曲 11 番へ短調作品 95 セリオーン

ズスケ四重奏団

#### Columbia HRS-1517-MU

弦楽四重奏曲第 11 番へ短調作品 95 セリオーン

弦楽四重奏曲第 12 番変ホ長調作品 127

シェッファー四重奏団

上記は下記で報告しています。

[アナログ再構成後の活用\(10\)](#)

[アナログ再構成後の活用\(11\)](#)

### 3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

ETERNA ET-3053 のズスケ四重奏団盤は、TELDEC、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。ズスケ四重奏団は研ぎ澄まされたような切れ込みの良い音で、適度に緊張感のある演奏を繰り広げます。[アナログ再構成後の活用\(10\)](#)では、Garrad 401 のシステムでしたが、今回は、演奏の特徴がより顕著になったような印象です。

Columbia HRS-1517-MU のシェッファー四重奏団盤は、Columbia、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。

盤質はあまりよくありませんが、それでも弦楽四重奏曲第 11 番セリオソは、ズスケ四重奏団盤と違って、迫力のある演奏であることが分ります。

弦楽四重奏曲第 12 番の第 1 楽章は一転してセリオソと違い、おだやかで静かな表情の曲で、しみじみと聴かせてくれますし、第 2 楽章以下も表情を変えていきます。

### 4. まとめ

前回の試聴以降、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上